

2026 年度 授業計画(シラバス)						
学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	総合臨床実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	560 (14) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	通年	教室名	実習施設
担 当 教 員	学科教員・臨床実習指導者	実務経験とその関連資格	実際に臨床現場で働く理学療法士から直接指導を受ける			
《授業科目における学習内容》						
実際に臨床現場での経験を通じて学ぶ。指導者の指導のもと、対象者の理学療法計画立案に関する思考を修得することに加え、経験可能な業務を経験し理学療法士として必要な技術を修得する。 指導形態は、診療参加型臨床実習とLOJTを基本とする。						
《成績評価の方法と基準》						
出席状況、取り組み姿勢、成果物、実習評価表、実習後の報告会やPost-CC-OSCEの結果から総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
出雲医療看護専門学校 理学療法士学科 臨床実習要項						
《授業外における学習方法》						
実習を通じて明らかとなった復習や予習内容について積極的に自己学習を行う						
《履修に当たっての留意点》						
臨床実習指導者は5年以上の実務経験を有するものとし、かつ臨床実習指導者養成講習会等を受講した者とする。 感染や医療事故等には十分留意して取り組むこと。 社会人、医療人としてふさわしい態度や身だしなみで取り組みこと。 患者・利用者、スタッフ、実習施設に少しでも貢献できるよう献身的に取り組むこと。						
臨床実習	実習形式	授業を通じての到達目標	対象者の課題を解決するための理学療法プログラムを立案できる。また、実施したプログラムの効果検証を行い、プログラムの修正ができる。加えて、学生の能力に合わせて経験可能な評価や治療その他の技術を身に着ける。		実習要項	実習での経験を振り返り自宅に必要な準備や自己研鑽の学習を行う。
		各コマにおける授業予定	臨床実習施設で7週間(35日間)×2回実施する 1日の実習時間は家庭学習も含め9時間とし、1週間の実習時間は40～45時間とする。 実際の診療場面に参加しながら、指導者の指導のもと取り組む。 診療場面への参加を通じて、施設の役割と機能および実習施設における理学療法士の役割と具体的業務を理解する。また、理学療法士に必要な能力を理解する。加えて、経験可能な業務を経験する。			